

## 平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月12日

上場取引所 JQ

上場会社名 滝沢ハム株式会社

コード番号 2293 URL <http://www.takizawaham.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 瀧澤 太郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 山口 輝

TEL 0282-23-5640

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	15,092	△7.4	205	—	160	—	124	—
21年3月期第2四半期	16,300	—	9	—	△14	—	△131	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	12.14	—
21年3月期第2四半期	△12.82	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	12,273	1,921	15.6	186.97
21年3月期	12,441	1,783	14.3	173.57

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 1,920百万円 21年3月期 1,782百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,600	5.4	410	386.8	330	—	270	—	26.29

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- |                 |   |
|-----------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う変更 | 無 |
| ② ①以外の変更        | 無 |
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- |                      |             |             |             |             |
|----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  | 22年3月期第2四半期 | 10,510,000株 | 21年3月期      | 10,510,000株 |
| ② 期末自己株式数            | 22年3月期第2四半期 | 240,033株    | 21年3月期      | 240,033株    |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第2四半期 | 10,269,967株 | 21年3月期第2四半期 | 10,270,093株 |

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の連結業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照ください。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、景気の底打ち感は見えてまいりましたものの、企業収益の悪化や個人消費の低迷により依然として低調に推移いたしました。

当業界におきましても、雇用情勢の悪化から個人消費が低迷し、商品の低価格化が進行するとともに食肉相場の低迷や食肉消費の低下もあり、厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の中で、当社グループは新商品の開発や商品の統廃合及び製造コストの削減を推進し生産性の向上に努めてまいりました。また、営業面においては新商品の販売促進を図るとともに、市場のニーズにあった低価格志向の商品の開発を行い売上強化を図ってまいりました。

しかしながら、当第2四半期連結累計期間の売上高は、牛肉、豚肉及び鶏肉とも相場低迷の影響と消費低迷等の要因による販売不振が重なったことにより、食肉部門の売上高が大幅に減少したため150億92百万円（前年同期比7.4%減）となりました。

損益面につきましては、ハム・ソーセージ等の売上高増加による粗利益の増加要因及び製造コストの削減効果により、営業利益は2億5百万円（前年同期9百万円の営業利益）、経常利益は1億60百万円（前年同期14百万円の経常損失）となりました。四半期純利益については遊休土地の売却による固定資産売却損、旧仙台工場跡地の減損損失等の特別損失22百万円を計上したため1億24百万円（前年同期1億31百万円の四半期純損失）となりました。

部門別の概況は次のとおりであります。

（食肉加工品部門）

食肉加工品部門につきましては、新商品のハム・ソーセージ類の売上が増加したことにより、この部門の売上高は増加いたしました。この結果、この部門の売上高は、57億円（前年同期比2.1%増）となりました。

（惣菜その他加工品部門）

惣菜その他加工品部門につきましては、食肉惣菜品の売上が好調に推移しましたことから、この部門の売上高は24億51百万円（前年同期比8.2%増）と増加しました。

（食肉部門）

食肉部門につきましては、国産豚肉は相場の低迷により販売単価が下落したため減少しました。国産牛肉につきましても和牛を中心に消費者ニーズの変化により需要が低迷したことと販売不振のため減少しました。この結果、この部門の売上高は68億49百万円（前年同期比18.0%減）となり減少しました。

（その他部門）

その他部門につきましては、物流部門及び外食部門の売上が減少したため、この部門の売上高は、89百万円（前年同期比9.0%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債、純資産等の状況

当第2四半期末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1億68百万円減少し、122億73百万円となりました。これは主に、たな卸資産の減少によるものであります。

当第2四半期末の負債は、前連結会計年度末に比べ3億6百万円減少し、103億52百万円となりました。これは主に、短期借入金及び長期借入金の減少によるものであります。

当第2四半期末の純資産は前連結会計年度末に比べ1億37百万円増加し、19億21百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

(2) 連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、営業活動によるキャッシュ・フローの増加により、前連結会計年度末に比べ1億41百万円増加し、13億65百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、7億94百万円(前年同期比73.6%増)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上とたな卸資産の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、1億57百万円(前年同期比54.0%増)となりました。これは主に、有形固定資産の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、4億95百万円(前年同期16百万円の収入)となりました。これは主に、短期借入金及び長期借入金の返済によるものであります。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、現時点において平成21年5月25日に公表した業績予想の変更はありません。

### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期末の貸倒実績率が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

② 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,497,340	1,355,447
受取手形及び売掛金	2,783,862	2,858,411
商品及び製品	1,351,775	1,583,568
仕掛品	152,234	145,177
原材料及び貯蔵品	256,217	368,202
繰延税金資産	125,049	125,039
その他	63,695	66,585
貸倒引当金	△7,181	△7,420
流動資産合計	6,222,993	6,495,012
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,879,390	1,904,707
機械装置及び運搬具(純額)	269,610	276,515
土地	2,705,755	2,631,992
リース資産(純額)	55,965	15,160
その他(純額)	73,284	74,773
有形固定資産合計	4,984,006	4,903,149
無形固定資産	12,889	12,508
投資その他の資産		
投資有価証券	790,992	773,712
繰延税金資産	8,314	8,203
その他	270,959	272,086
貸倒引当金	△16,314	△22,759
投資その他の資産合計	1,053,952	1,031,243
固定資産合計	6,050,848	5,946,902
資産合計	12,273,842	12,441,914

(単位:千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,497,941	2,424,562
短期借入金	4,179,082	4,440,691
リース債務	10,175	3,039
未払法人税等	22,263	26,903
賞与引当金	125,243	90,566
その他	776,710	794,558
流動負債合計	7,611,416	7,780,320
固定負債		
長期借入金	1,501,096	1,673,754
リース債務	49,171	13,059
長期未払金	386,194	405,128
退職給付引当金	670,222	657,680
役員退職慰労引当金	89,111	78,369
負ののれん	24,339	29,207
その他	20,976	21,061
固定負債合計	2,741,111	2,878,260
負債合計	10,352,528	10,658,581
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,080,500	1,080,500
資本剰余金	685,424	804,045
利益剰余金	322,741	79,482
自己株式	△3,877	△3,877
株主資本合計	2,084,789	1,960,150
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△164,616	△177,589
評価・換算差額等合計	△164,616	△177,589
少数株主持分	1,142	772
純資産合計	1,921,314	1,783,333
負債純資産合計	12,273,842	12,441,914

(2) 【四半期連結損益計算書】  
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	16,300,240	15,092,054
売上原価	13,694,656	12,327,312
売上総利益	2,605,583	2,764,741
販売費及び一般管理費	2,596,562	2,559,724
営業利益	9,021	205,017
営業外収益		
受取利息	825	314
受取配当金	10,599	9,357
補助金収入	13,592	3,477
その他	34,616	24,058
営業外収益合計	59,633	37,208
営業外費用		
支払利息	59,437	58,415
過年度退職給付費用	23,370	23,370
その他	28	281
営業外費用合計	82,836	82,067
経常利益又は経常損失(△)	△14,180	160,158
特別利益		
貸倒引当金戻入額	3,197	1,016
過年度損益修正益	2,766	—
その他	231	—
特別利益合計	6,195	1,016
特別損失		
固定資産売却損	—	7,900
固定資産除却損	23,890	5,675
減損損失	635	8,605
その他	4,174	67
特別損失合計	28,700	22,249
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△36,685	138,925
法人税、住民税及び事業税	8,591	13,927
法人税等調整額	86,856	△10
法人税等合計	95,448	13,916
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△429	369
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△131,703	124,638

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△36,685	138,925
減価償却費	160,309	136,647
減損損失	635	8,605
引当金の増減額(△は減少)	△61,902	47,927
受取利息及び受取配当金	△11,424	△9,672
支払利息	59,437	58,415
固定資産除却損	23,890	5,675
固定資産売却損益(△は益)	—	7,900
未払消費税等の増減額(△は減少)	44,597	△62,284
売上債権の増減額(△は増加)	234,199	74,266
たな卸資産の増減額(△は増加)	286,181	336,721
仕入債務の増減額(△は減少)	△82,277	73,379
その他の資産の増減額(△は増加)	△26,513	13,998
その他の負債の増減額(△は減少)	△58,968	40,697
その他	△8,736	△13,097
小計	522,743	858,105
利息及び配当金の受取額	11,424	9,672
利息の支払額	△61,525	△54,452
法人税等の支払額	△15,003	△18,668
営業活動によるキャッシュ・フロー	457,640	794,657
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△96,586	△156,506
有形固定資産の売却による収入	114	—
固定資産の除却による支出	—	△2,659
投資有価証券の取得による支出	△4,404	△4,418
貸付けによる支出	△950	△1,200
貸付金の回収による収入	2,056	2,753
定期預金の増減額(△は増加)	△1,861	△50
その他	△400	5,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△102,032	△157,081
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△188,333	△315,669
長期借入れによる収入	400,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△154,642	△218,598
長期未払金の返済による支出	—	△18,341
社債の償還による支出	△40,000	△40,000
配当金の支払額	△77	△48
その他	△306	△3,076
財務活動によるキャッシュ・フロー	16,641	△495,733
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	372,249	141,842
現金及び現金同等物の期首残高	826,778	1,223,835
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,199,028	1,365,677



(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結会計期間(自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

当社グループの取扱う製品等を種類・性質、製造方法、販売市場等の類似性に基づいて区分した結果、同一事業種類の売上高及び営業利益の金額が、いずれも全セグメントの90%を超えていますので、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

当社グループの取扱う製品等を種類・性質、製造方法、販売市場等の類似性に基づいて区分した結果、同一事業種類の売上高及び営業利益の金額が、いずれも全セグメントの90%を超えていますので、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

当社グループは、在外連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

当社グループは、在外連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

当社グループは、海外売上高がないため、該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

当社グループは、海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成21年6月26日開催の第59回定時株主総会において、会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金80,375千円をその他資本剰余金に振り替え、さらに、会社法第452条の規定に基づき、上記振り替え後のその他資本剰余金118,620千円を繰越利益剰余金に振り替え、同額分の欠損を解消する決議を行っております。この結果、当第2四半期連結会計期間末の資本剰余金は118,620千円減少し685,424千円となっております。